# 2015年1月10日(土) 13:00~17:30

全国被災地交流集会·円卓会議

### 震災バネがつなぐ復興への想い

#### 関西学院会館レセプションホール

阪神・淡路大震災から東日本大震災までの六つの地震・噴火・津波被害の被災地から復興リーダーや移住者、 広域避難者、さらには未来の被災地などからも研究者、学生、ジャーナリストら約30人が一堂に会し、復興と震災 バネについて意見を交わす。

第1部 人に寄り添う

司 会 山中 茂樹(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員·教授) 松田 曜子(関西学院大学災害復興制度研究所研究員·准教授)

第2部 地域に寄り添う

第3部 震災バネと災害列島

2015年 1月11日(日) 13:00~17:00

リレートーク

## 届け 震災バネが伝える復興への想い ~KOBEからTOHOKUへ

### 関西学院会館レセプションホール

**案内人** 妹尾 和夫・魚住 由紀 (MBSラジオ 「ネットワーク1・17」 のゴールデンコンビ)

解 題 山中 茂樹 (関西学院大学 災害復興制度研究所)

◆第1組

◆第2組

加藤 りつこ (広島市安佐北区在住。広島と福島を結ぶ会会長。阪神・淡路大震災で一人息子を失う。)

西山 祐子(福島市出身。県外避難者支援団体「避難者と支援者 を結ぶ京都ネットワークみんなの手」を設立。)

中埜 翔太 (神戸市東灘区在住。神戸市外国語大学4年。阪神・ 淡路大震災で母親を失い、祖母に育てられた。) 西崎 伸子(福島市在住。福島大学行政制作学類准教授。夫と小 学校4年の娘が兵庫県の丹波篠山に避難中。)

## 2015年 1月 12日 (月・祝)

災害ボランティア20年ワークショップ これからのボランティアと対話の力

13:00~17:00

関西学院会館レセプションホール

演劇の技法を取り入れたコミュニケーション教育に造詣の深い平田オリザ氏(劇団青年団主宰)を講師に迎え、災害ボランティア関係者約30人参加のワークショップ、基調講演、パネルディスカッションを行い、「人と人とのコミュニケーション」としてのボランティアの役割を改めて考える。

### 災害ボランティアによるワークショップ 基調講演「文化による社会包摂

-緩やかなネットワーク社会を目ざして-|

平田 オリザ (劇団青年団主宰、東京藝術大学アートイノベーションセンター特任教授)

パネルディスカッション

「"ボランティア"と"被災者"の対話の力」

公開セミナー

阪神・淡路大震災の教訓からみた 東日本大震災

10:00~17:00

関西学院大学 F号館104号室

東日本大震災の初期対応を中心に日本災害復興 学会員の青田良介、石川永子、磯辺康子、小口幸 人、坂本真由美、関谷直也、田並尚恵、鳥井静夫 (敬称略、50音順)のみなさんが「避難所」「広域 避難」「みなし仮設」などのテーマで研究報告する。 一般公開。

参加ご希望の方は、裏面の参加申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記宛に郵便、FAX又はメール (参加申し込み用紙と同じ項目を記載)にてお申し込みください。(入場無料)

**関西学院大学災害復興制度研究所** 〒662-8501 兵庫県西宮市上ケ原一番町1-155
URL http://www.fukkou.net/ TEL.0798-54-6996 FAX.0798-54-6997 E-mail: kgu\_fukko2005@fukkou.net
[主催] 関西学院大学災害復興制度研究所 [共催]日本災害復興学会 [後援]朝日新聞社